

平成26年度研究成果報告書 《平成26年度教育課程研究指定校事業》

都道府県・指定都市番号	35	都道府県・指定都市名	山口県	研究課題番号・校種名	2 小学校
				教科名	道 徳
研究課題	<p>新学習指導要領において、各教科等においても特質に応じた適切な道德教育を行うこと、道德教育の全体計画に各教科等で行う道德教育について指導の内容及び時期を示すことになったことを踏まえ、自校の道德教育の重点目標に基づく各教科等の特質を生かした道德教育、それらを補充、深化、統合する道德の時間の指導方法等の研究</p> <p>(7) 学校の道德教育の重点目標に基づく全体計画の作成と実施に関わる工夫                  (4) 各教科等の特質を生かした道德教育の工夫                  (9) 各教科等の道德教育を補充、深化、統合する道德の時間の指導の工夫</p>				
ふりがな 学校名 (児童数)	<p>やまぐちけんしゅうなんしりつきさんしょうがっこう                  山口県周南市立岐山小学校 (462人)</p>				
所在地 (電話番号)	<p>山口県周南市大字徳山 5673 番地 (0834-22-8820)</p>				
研究内容等掲載ウェブサイト URL	<p><a href="http://www.shunan.ed.jp/kisansho/">http://www.shunan.ed.jp/kisansho/</a></p>				
研究のキーワード	<p>重点項目を絞る 他者との関わり 話し合い活動の活性化 補充、深化、統合 別業</p>				
研究成果のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よさや課題に着目した重点目標の設定とその具現化を意図した全体計画の見直し</li> <li>・生きて働く年間指導計画や重点項目に特化した別業の作成</li> <li>・道德の時間の授業づくりの手順の明確化による教材研究の取組の深化</li> <li>・道德的価値の自覚を深めるペアトークやグループ等の話し合い活動の多様化と充実</li> <li>・各教科等や体験活動を意識した道德の時間における補充、深化、統合の工夫</li> <li>・道德の時間を支える環境整備や情報共有の充実</li> </ul>				

1 研究主題等

(1) 研究主題

<p>心を磨く道德教育の在り方                  ～よりよい生き方を求め、他者と関わり自分を見つめる道德の時間の授業づくり～</p>
--

(2) 研究主題設定の理由

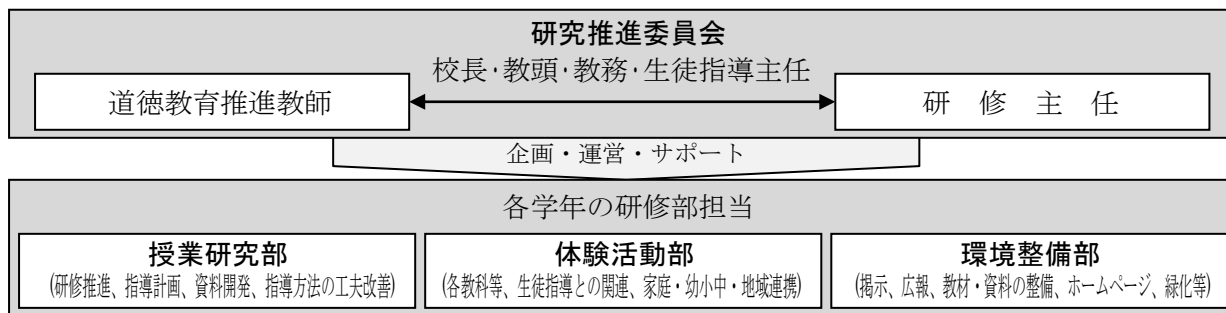
児童は、全体的に素直で落ち着いた学校生活を送っている。学年を問わず、思いやりがあり、道德の時間が好きだと感じている児童が多く、比較的バランスの取れた道德性が育まれている。

一方で、前年度のアンケート調査から得られた課題として、自律性の弱さや困難なことに挑戦する粘り強さが足りないこと等、「活力」に乏しく、自己肯定感が低いことがあげられる。

そこで、研究主題を上記のとおりとし、「よりよい生き方を求め」とあるように、道德性の「よさ」の伸長とともに「課題」の克服に向け、全教育活動の中では、各教科、特別活動等や体験活動を通して、道德的価値に基づいた生き方を養うことに努めることとした。さらに、要としての「道德の時間」では、新しい価値との出会いとしての「他者との関わり」を通して、自らの生き方を捉えなおす「自分を見つめる道德の時間の授業づくり」を探っていくこととした。

その際、各教科等の道德教育の補充、深化、統合を意識した道德の時間に配慮するとともに、話し合い活動の工夫・改善を明らかにする研修を進めていくこととした。

(3) 研究体制



(4) 1年間の主な取組

25 年 度 末	H26. 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状と課題把握</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修計画・組織体制立案、「私たちの道徳」を入れた年間指導計画と別葉の見直し</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校長の方針提示、重点目標、学年目標の決定</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 25年度までの取組の共通理解、「小学校学習指導要領解説〈道徳編〉」の輪読</li> <li>・ 研修計画提示（研修主題、主題設定の理由、研究内容・方法、研修組織、研修日程等）、タイムスケジュール提示、ホームページへの研修概要の掲載</li> <li>・ 授業研究(5/30:5年)、第1回学校運営協議会(道徳教育推進の共通理解)</li> <li>・ 授業研究(6/16:3年、6/17:1年、6/19:2年、6/24:3年、6/25:2・6年、6/27:4年)</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回道徳授業公開研修会(1年授業公開)、掲示板「心の広場」作成</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究発表大会第1次案内状発送(県内、7/1)、授業研究(7/3:6・4年)</li> <li>・ 夏季校内研修(学年別研修、部会別研修、資料分析、指導案作成等)</li> <li>・ 第2回学校運営協議会(チャレンジ目標の達成状況、地域連携)</li> <li>・ 全国小学校中央研修講座参加(1名)、心の教育研究会「第12回全国大会(山口市)」に参加(8名)、一学期の道徳の時間の教材整理。</li> </ul>
26 年 度	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究大会に向けた指導案検討と協議(全学年)、研修通信を随時ホームページに掲載</li> <li>・ 岐陽中校区小中連携推進事業夏季合同研修会開催(岐山小、徳山小、遠石小、岐陽中学校教職員参加者102名、周南総合庁舎にて指導講話「道徳教育における小中連携の推進」)</li> <li>・ 県小道研夏季研修講座参加(周東パストラルホール4名)</li> </ul>
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究発表大会第2次案内状発送(県内、9/1)、ホームページへ案内状掲載</li> <li>・ 授業研究(9/24:6年、9/26:3年、9/29:5年)</li> <li>・ 研究概要発表用プレゼンテーション並びにパネル作成</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業研究(10/1:2・4年、10/7:2年、10/9:6年・1年、10/17:6・1年、10/17:6年、10/21:2・3年、10/22:1年、10/23:4年)</li> <li>・ 第3回学校運営協議会(学校評価を通して道徳教育推進の評価依頼)</li> <li>・ 道徳教育研究発表大会開催(全学年授業公開、分科会、全体会、指導講話等)市小研道徳部会秋季半日研修並びに県小道研プレ大会を兼ねる。(参加者162名)</li> <li>・ 本年度実施の指導案をホームページに掲載、県内道徳教育授業セミナーに参加。</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第50回全国小学校道徳教育研究大会(岐阜大会)参加(1名)</li> <li>・ 研修集録作成に向けた取組内容の整理、山口大学教育学部附属光・山口小学校の研究発表大会参加(道徳の授業参観)</li> </ul>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業研究(12/4:4年)、岐陽中校区小中連携推進事業冬季合同研修(道徳模擬授業公開)</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究集録作成・配布</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度の全体計画並びに年間指導計画の見直し</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度の反省と来年度の計画</li> </ul>

## 2 研究内容及び具体的な研究活動

### (1) 研究内容

- ① 重点目標の設定、全体計画の立案
- ② 生きて働く年間指導計画や別葉の見直し
- ③ 道徳の時間の授業づくりの手順作成
- ④ 道徳的価値の自覚を深める話し合い活動
- ⑤ 補充、深化、統合を意識した道徳の時間
- ⑥ 環境整備や広報、情報共有等

### (2) 具体的な研究活動

- ① 重点目標の設定と全体計画への位置付け
  - ア 児童並びに教職員の道徳性アンケートによる実態把握
  - イ 重点目標 課題の解決：「一人立つ心」（重点価値項目：不撓不屈、自主自律）  
よさの伸長：「温かい心」（重点価値項目：思いやり・親切、信頼友情）
  - ウ 全体計画への位置付け、学年目標の設定
  - エ 重点目標に関わる重点価値項目の理解（指導要領解説の輪読）
- ② 生きて働く年間指導計画や別葉の見直し
  - ア 年間指導計画への「私たちの道徳」の挿入と重点項目に関わる資料選択、時数の見直し
  - イ 各教科等で行う道徳教育についての指導の内容及び時期を示した別葉と重点目標に特化した別葉の作成（「一人立つ」「温かい心」の別葉）
  - ウ 道徳の時間における補充、深化、統合の振り返りと別葉の見直し
- ③ 道徳の時間の授業づくりの手順の明確化
  - ア 授業づくりの手順の共通理解
  - イ 資料分析表を活用した指導案づくり、価値追究の流れが分かる構造的な板書計画
  - ウ 価値への導入(導入)、価値への気付き(展開 1)、価値への自覚(展開 2)、価値に浸る(終末)の指導過程と配慮事項
- ④ 授業研究を通じた道徳的価値の自覚を深める話し合い活動の工夫改善
  - ア 主題解明の具体的手立ての提案と実践を通じた工夫・改善
    - 1年：心情の変化に気付き、価値について自分の考えを伝えやすくするためのペーパーサークルを用いた話し合い活動
    - 2年：話し合いを活性化させ、登場人物の気持ちをより深く考え道徳的価値に迫るためのペアトーク
    - 3年：苦しい状況を乗り越えなければ見えない価値に気付かせるために、友だち同士の意見をつなぐ言葉をつかったグループでの話し合い活動
    - 4年：主人公の深い気持ちに触れさせるために、ワークシートに自分の考えをまとめた後にペアで話し合う活動
    - 5年：主人公の生き方に憧れ、価値を捉えやすくするために、キーワードを取り入れた構造的な板書やグループの話し合い活動
    - 6年：道徳的価値の自覚を深めるために、登場人物の心情について自分の立場を明確にして、ペアで話し合わせたり、主人公の生き方について自分の考えをまとめたりする活動
  - イ 発問の吟味
    - ・ 中心発問の在り方(価値観・資料観・指導観に基づき、人間理解、他者理解、価値理解、自己理解を踏まえた検討)の共通理解

- ⑤ 全教育活動を通じた道徳教育を補充、深化、統合する道徳の時間
- ア 補充、深化、統合する道徳の時間の在り方の共通理解
- ・道徳の時間以外の教育活動と道徳の時間との関連（補充、深化、統合の類型化）
- イ チャレンジ目標と道徳の時間との関連
- ・心が通う 笑顔であいさつ(1日20人) ・心を磨く だまって掃除(15分)
  - ・心に栄養 朝読書(15分) ・心をこめて くつ箱せいとん(1日4回)
- ⑥ 環境整備や情報共有等による道徳教育への支援
- ア 掲示板「心の広場」(各学年児童用・教職員研修用)や「道徳コーナー」(各学級)による情報発信と共有、教材・指導記録の蓄積
- イ 継続的な研修通信による道徳教育の推進の共通理解(年間35号まで発行・配布)
- ウ ホームページ、道徳だより等による道徳教育推進の情報提供と地域・保護者・学校間連携
- ・研究概要、研究発表会案内、全体計画・年間指導計画、指導案、授業実践状況等の掲載
  - ・岐陽中校区小中連携推進事業(あいさつ運動、規範意識の育成、道徳の授業公開等)
  - ・「ひまわりプロジェクト」(児童、高齢者を見守る心のつながりネットワーク)の推進

### 3 研究の成果と課題

#### (1) 成果

- ・教職員においては、重点目標を意識した全教育活動への対応(道徳の時間における補充、深化、統合を含む)が可能となり、児童への道徳的価値を意識した言葉がけが増え、タイミングよく価値づけることができるようになった。
- ・重点目標の価値項目を意識した研修により、同じ価値項目の資料の関連を明確にした資料分析ができた。また、重点項目に絞った別葉の作成により、6年間を見通すことができ、発達段階における該当価値の軽重を理解して、指導に当たることができるようになった。
- ・価値の追求や道徳的価値の自覚につながる話し合い活動の基本的手法が定着してきた。話し合いの形態(ペア・グループ)やワークシートの活用など様々な工夫の導入により、話し合うことが好きになり、自信をもって全体の場で発表する児童が増加した。
- ・中心発問の吟味により、資料に登場する人物の気持ちについて児童自身の体験や価値観と重ねて意見を述べることで価値追求の自覚や価値の振り返りができるようになった。
- ・自主的な公開授業を通して、授業づくりのアイデアの情報発信や共有化の機会が増えた。

#### (2) 課題

- ・価値項目別の別葉の作成
- ・価値の自覚を深める多様な話し合い活動の工夫・改善(他者理解や新たな視点の価値理解)
- ・話し合い活動を活性化する外部人材(地域・保護者)や地域資料の導入・活用
- ・道徳の時間における他者との関わりや道徳ファイル(3年間使用)、生活態度から心の育ちを見取る多様な評価方法の取組
- ・日常的な教育活動における児童の道徳的価値を見取る教師の力量の向上

#### (3) 指定期間終了後の取組

平成28年度には、周南市立德山小学校と本校2校で前年度研究発表プレ大会を開催し、平成29年度には、全国小学校道徳教育研究発表会の開催を予定している。指定期間の研究を基礎として道徳的価値を深める話し合い活動の多様な手法を探るとともに、教科化に向けて道徳の時間等における心の育ちを見取る評価の在り方、コミュニティスクール等を利用した外部人材の活用や郷土資料の収集・活用に取り組んでいきたい。